



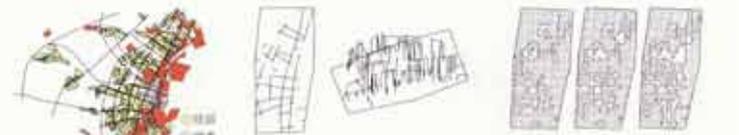
選別設定 都市・自治市の風化

ダイヤグラム 様々な都市の要素の集積

現在ある問題



将来・未来



用途別地域別に抽象化した幹線道路を合わせ、道路を分析する。敷地に合わせて縮小し、方向を南北に合わせて敷地に配置し分割、分析した高さに合わせて、高さを与える。



しゅくしょう=イマミライ
-四日市クリニックコンプレックス-

国士舘大学
理工学部理工学科

田中 俊太郎



1990年 三重県出身
2007年 海星高等学校 卒業
2012年 国士舘大学 理工学部理工学科 国広ジョージ・仙田満研究室 卒業
現在 国士舘大学大学院 工学研究科 建設工学専攻 国広ジョージ研究室 在籍

【設計主旨】

少子高齢化、経済不況などの日本が抱える問題の多くは地方都市に顕著に表れている。それは、かつて重工業で賑わった故郷の三重県四日市市でも今では衰退の一途を辿っている。

そこでこの状況を打破するためには問題（少子高齢化や経済不況、拡大する都市など）を建築のみで解決するのではなく、解決への足がかりとして建築による各問題の縮小が必要であると考えた。

また、プログラムについては、四日市の市政でも必要とされる「雇用、公害の風化、都市計画の見直し」という3条件、都市の縮小によって復興した実例のサーベイ、四日市の周辺地域のスケールなどを考慮し、メディカルコンプレックス（複合診療所）を選定した。みである。

【質問事項】

- Q1:発想の原点
- 地方都市の衰退と拡大信仰の矛盾
 - 拡大信仰による建築と都市と政治のズレ
 - 都市を変換し建築へ
 - 病院における見えないうかれ、隔離感
- Q2:制作を振り返って
- 病気で倒れてしまい、提出に間に合わないかもしれない時に、お手伝いしてくれた先輩や後輩、そして唯一の同研究室の4年生の藤井氏にこの場で感謝したいと思っています。今後の新4年生、病氣などで倒れないくらいに頑張ってください！
- Q3:気になるアーティストは？
- 伊坂幸太郎、YAMANE、SEEDA、

【作品データ】

建物用途 複合診療所
敷地所在地 三重県四日市市

【制作データ】

作品総点数 A1:10枚 模型:4点
制作期間 構想- 2カ月
制作- 4週間
主な模型材料 スチレンペーパー、塩ビ板、OHPシート など